

今から約2千年前、イエス・キリストが家畜小屋で静かにお生まれになりました。このキリストは、御子なる神が人となられた御方でした。



キリストはその力と愛を示され、多くの病人をいやし、時には死人さえもよみがえらせたのです。一方で人々の罪を厳しく指摘し、悔い改めを説きました。

その結果人々はキリストを拒み、嘲り、唾を吐き、死刑に定めたのです。しかしキリストは何の抵抗もされず、黙って手と足に釘を打たれ、あの恐ろしい十字架で命を捨てられました。



キリストが自ら苦しみの道を進まれたのは、私たちの罪を負い、身代わりとなって神様からの罰を受けるためだったのです。

キリストは、あなたを救うために十字架で死なれました。

「キリストイエスは罪人を救うために 世に来られた」

(テモテへの手紙第一 1章15節)

さて、皆様にとってキリストの十字架は、無関係の出来事ではありません。人間は皆、神様の前に罪人であり、死後にさばきを受けなければならないからです。「突然何の話だ」と思われるかも知れませんが、ぜひ神様の前で自分の姿を、真剣に考えて頂きたいのです。

根本的な罪

聖書は、全宇宙を創造され、今も支配しておられる神様が実在されると語っています。私たち人間を造られたのも神様であり、また人間には特別な知恵も与えられているので、偉大な創造主について理解することができます。ですから当然、私たちは神様を愛し尊び敬い、感謝と礼拝を献げるべきです。それにも関わらず、人間はまことの神様を無視して生きています。ある人々は、自分の都合に合わせた偽の神々を造って拝み、またある人々は「神などいない、人間は偶然の産物だ、造られた目的などないのだから、自分の

欲望を満たすために生きればよい」と主張しています。そして私たちはそれぞれ自分勝手な道

を選んで、神様のご支配を拒んでいるのです。

様々な罪

神を認めない人は、生きる目的を見失います。どれだけ欲望を追求したても、その空しい心は決して満たされません。さらに私たちは、その自分勝手な人生の中で何と多くの罪を犯していることでしょうか。神様は聖書を通して、このように指摘しておられます。

「こういうわけで、神は彼らを恥ずべき情欲に引き渡されました…また、彼らは神を知ることによって価値を認めなかったため、神は彼らに無価値な思いに引き渡されました。それで彼らは、してはならないことを行っているのです。彼らは、あらゆる不義、悪、貪欲、悪意に満ち、ねたみ、殺意、争い、欺き、悪巧みにまみれています。また彼らは陰口を言い、人を中傷し、神を憎み、人を侮り、高ぶり、大言壮語し、悪事を企み、親に逆らい、浅はかで、不誠実で、情け知らずで、無慈悲です。」

(ローマ人への手紙 1章28~31節)

これが聖い神様から見た人間の姿であり、否定できる人は一人もいません。ですから全ての人は、死後神様の前に立ち、全ての罪が明らかにされ、さばかなければなりません。そして一



度入ったら出ることのできない火の池、ゲヘナ（＝地獄）に投げ込まれるのです。

「彼らを惑わした悪魔は火と硫黄の池に投げ込まれた。そこには獣も偽預言者もいる。彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しみを受ける…いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。」

（ヨハネの黙示録 20章10節,15節）

救いのご計画

しかし愛なる神様は、罪人を救うご計画を用意しておられ、その成就のために御子イエス様を世に遣わされました。キリストの十字架は、偶発的な事故でも失敗でもなく、聖書の中で予言されて来た、偉大な神様の救いの御業であったのです。

また、キリストご自身もご自分の最後について何度も語っておられました。

「それは、イエスが弟子たちに教えて『人の子は人々の手に引き渡され、殺される。しかし、殺されて3日後によみがえる』と言っておられたからである。しかし、弟子たちにはこのことばが理解できなかった。また、イエスに尋ねるのを恐れていた。」

（マルコの福音書 9章31～32節）

神の御子イエス・キリストは、あな

たを愛し、あなたの罪を負い、あなたの身代わりとなって神様からの罪の罰を受け、十字架で



苦しみました。そしてみことば通り十字架で死なれ、死後3日目によみがえられ、天へ帰られました。弟子たちはその姿を確かに見て、手で触れました。その後彼らは命をかけてキリストの復活を宣べ伝えたのです。反対者たちもそれを否定できず、クリスチャンを殺害することしか出来ませんでした。これは、キリストの復活が歴史的事実であったことを示しています。そしてこの復活こそ、キリストがまことの神であり救い主であることの何よりの証拠です。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」（ヨハネの福音書 3章16節）

あなたを救うための御業は、すでに成し遂げられました。あとはあなたがご自分の罪を悔い改めて、イエス様を信じ受け入れるならば、全ての罪が赦されて神様に受け入れて頂くことができます。そして、死後天国に行き、神様と永遠に愛し合って生きていくことができるのです。ぜひ皆様も、キリストの十字架の意味を知り、救いを受け取る方となって下さい。